

**SUZUKI**

スズキキット教材

# カリンバキット

## 組み立て説明書

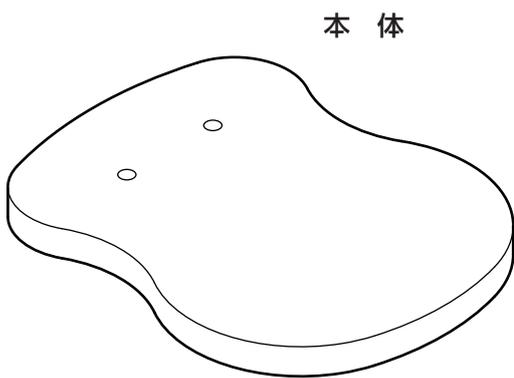
組み立て、ご使用を安全におこなっていただくため、この組み立て説明書をよくお読みください。  
お読みになった組み立て説明書は、大切に保管してください。

作ってみよう!



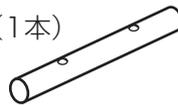
### “確認しよう”

組み立てる前に、全ての材料が入っているか、確認しましょう。



本体

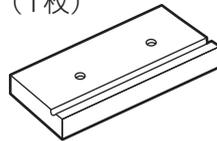
おさえ棒 (1本)



横棒 (1本)



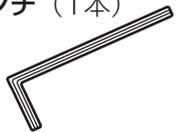
まくら木 (1枚)



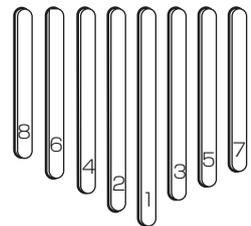
ネジ (2本)



六角レンチ (1本)



キー (8本)



### ⚠ 注意 組み立てる前によく読んでください。



部品を投げたりふり回したりしないでください。破損の原因となるだけでなくケガのおそれがあり危険です。



金属部品等は、安全性を考えた加工をしていますが、ケガなどがないように取りあつかいに注意してください。



キーの間に指を入れたり、部品を口や目の中に入れたりしないでください。ケガの原因となります。



小さいお子様の手の届かないところに保管してください。思わぬ事故につながります。



組み立て後、調律などでキーを動かしたい場合はネジをゆるめてからおこなってください。無理に動かすと破損の原因となるだけでなく、ケガのおそれがあり、危険です。

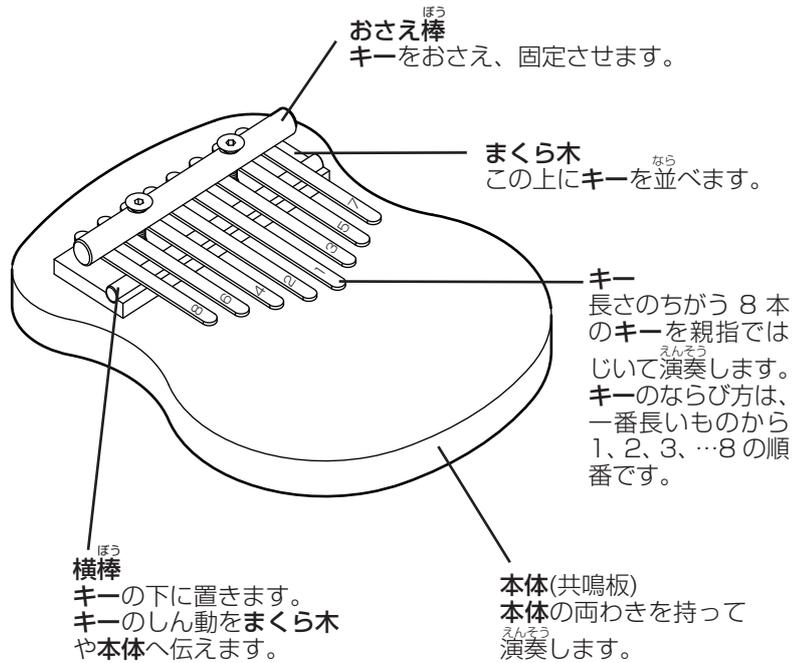


水分の多い場所やしつ度の高い場所、極度に温度の高い場所での使用・保管はさけてください。変形や破損の原因となります。

# “カリンバってなあに？”

カリンバは、共鳴体をかねた箱や板に一組のキーを並べて固定し、主に親指でキーをはじいて演奏することから「親指ピアノ」とも呼ばれています。カリンバは、アフリカを代表する民族楽器であり、アフリカでは「心の楽器」として親しまれています。その歴史は古く、古代エジプトの古文書にすでに記されています。アフリカでは、材質や大きさ、キーの本数や並び方も様々な、色々な種類のカリンバを見ることができます。

このキットでは、共鳴板を使ったカリンバを取り上げましたが、自分で共鳴箱を作ったり、かざりをつけてノイズを発生させたりしてオリジナルのカリンバ作りに挑戦してみましょう。



# “組み立てよう”

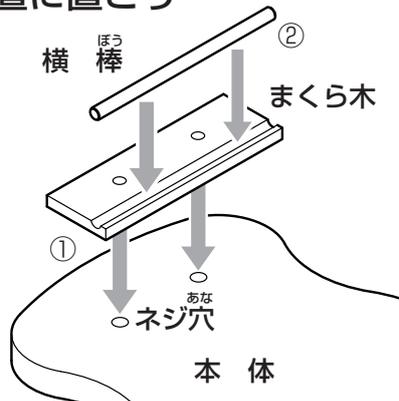
## アドバイス

本体、まくら木に色をぬったり、絵をかいいたりする場合は、組み立てる前に行いましょう。本体とまくら木の表面は、紙ヤスリをかけておくと、色がつきやすくなります。組み立ては、絵の具がかわいてからにしましょう。

本体には表と裏があります。リング状の金具が出ている方を裏にして組み立ててください。

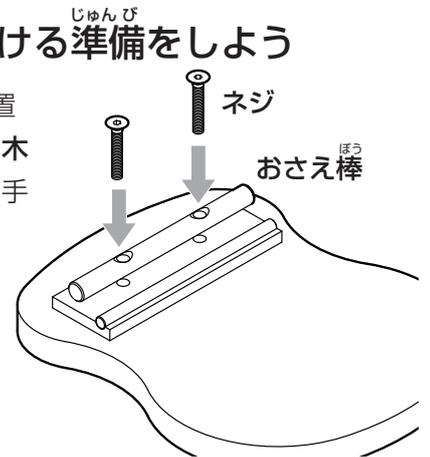
## 1, 部品を正しい位置に置こう

- ① 図のように、まくら木を本体の表板の上に置きます。  
注) 本体のネジ穴とまくら木のネジ穴の位置を合わせておきましょう。
- ② 細いみぞの上に横棒を置きます。



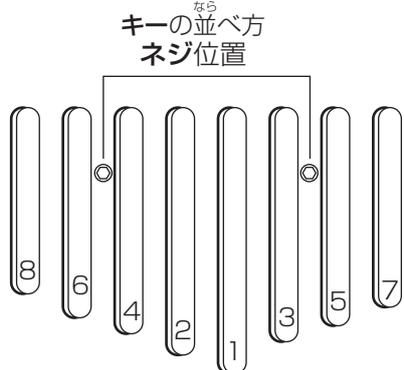
## 2, キーを取り付ける準備をしよう

- ① おさえ棒の穴の位置を合わせて、まくら木の上に置き、ネジを手で 3 回転くらい回して軽くしめ、おさえ棒、まくら木、本体を留めます。

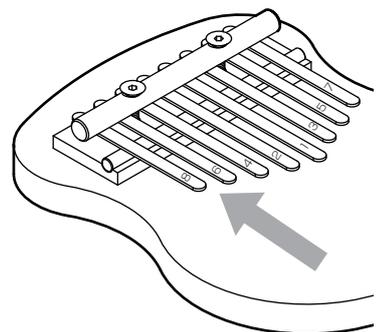


## 3, 音が鳴るキーを順番に正しく取り付けよう

- ① キーは、1番長いものから短いものへと番号順に右図のように並べておきます。キーの先でケガをしないように注意しましょう。



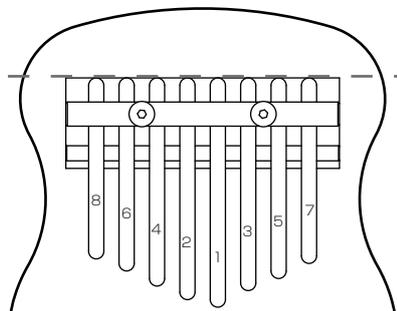
- ② キーに刻印されている数字の順番どおりに、図のようにおさえ棒とまくら木の間へキーを差しこみます。



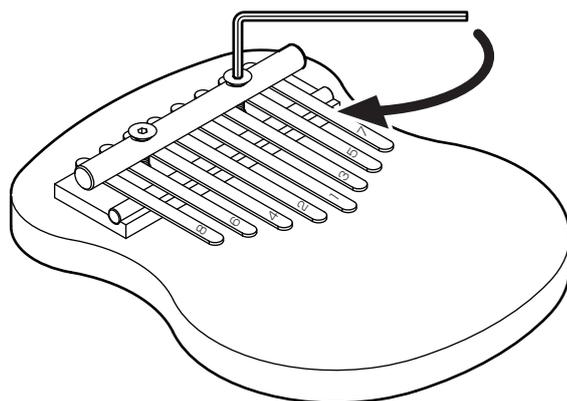
## 4, キーを正しく取り付けて音程<sup>てい</sup>を合わせよう

- ① キーは下図の位置に置くことでほぼ八長調（C調）になります。
- ② キーが順番に正しく取り付けられたら、おさえ棒<sup>ぼう</sup>を六角レンチでしめます。この時は、手で軽くキーが前後に動かせる程度までしめます。

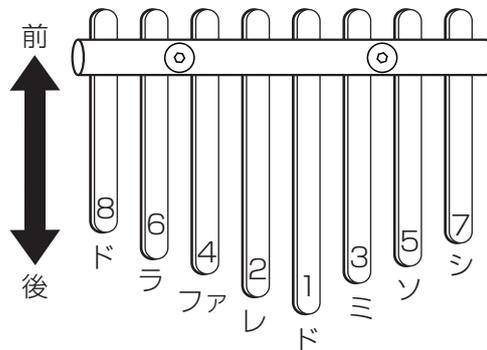
まくら木の上と、  
キーの上が合う  
ように。



六角レンチ



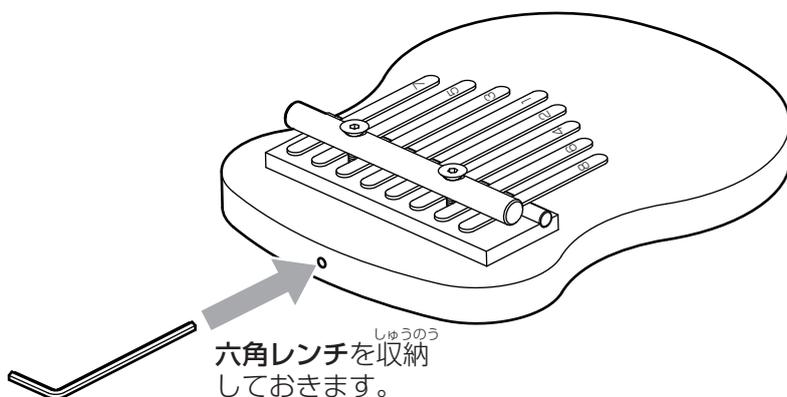
- ③ 1～8まで順番にはじいて音を出し、キーを前後に動かしてチューニングしましょう。



- ④ 音程<sup>てい</sup>を合わせることが出来たら、さらにネジを強くしめてキーを固定します。

### ⚠ 注意

- ・ ネジを強くしめすぎると、まくら木がわれてしまいます。
- ・ ネジを強くしめた状態<sup>じょうたい</sup>でキーを動かすと、キーが変形することがあります。



## “音を出してみよう”

## 5, 演奏<sup>えんそう</sup>してみよう

裏面<sup>うら</sup>に楽しむがあります。  
曲の演奏<sup>えんそう</sup>にチャレンジ  
してみましょう。





## アマリリス

ソ ラ ソ ド ソ ラ ソ      ラ ラ ソ ラ ソファミレミ ド  
5 6 5 8 5 6 5      6 6 5 6 5 4 3 2 3 1

ソ ラ ソ ド ソ ラ ソ      ラ ラ ソ ラ ソファミレド  
5 6 5 8 5 6 5      6 6 5 6 5 4 3 2 1

3

## アメイジング・グレース

ド ファ ラ ファ ラ ソ ファ レ ド ド  
1 4 6 4 6 5 4 2 1 1

ファ ラ ファ ラ ソ ラ ド      ド ラ ド ラ ファ ラ ソ  
4 6 4 6 5 6 8      8 6 8 6 4 6 5

ファ レ ド ド ファ ラ ファ ラ ソ ファ ファ  
4 2 1 1 4 6 4 6 5 4 4

## アフリカのカリンバにちょう戦してみよう

ソ ソ ラ シ ド ソ シ ソ ラ ド ミ レ ソ ソ ラ ソ ラ ソ ラ ソ ラ ド ミ レ  
5 5 6 7 8 5 7 5 6 1 3 2 5 5 6 5 6 5 6 5 6 1 3 2

ソ ソ ラ シ ド ソ シ ソ ラ ド ミ レ ソ ソ ラ ソ ラ ソ ラ ソ ラ ド ミ レ  
5 5 6 7 8 5 7 5 6 1 3 2 5 5 6 5 6 5 6 5 6 1 3 2

ソ シ ド ド ラ レ シ ソ ラ ド ミ レ ソ ソ ラ ド ミ レ シ ソ ラ ド ミ レ  
5 7 8 1 6 2 7 5 6 1 3 2 5 5 6 1 3 2 7 5 6 1 3 2

simile ド シ ソ ド ラ レ シ ソ ラ ド ミ レ ラ シ ソ ド ミ レ ソ ソ ラ ド ミ レ rep.&rep.  
8 7 5 1 6 2 7 5 6 1 3 2 6 7 5 1 3 2 5 5 6 1 3 2

テヌートを意識して演奏すると、アフリカ音楽らしいビート感が出る。